

第74回

(オンライン) **市町村議会議員研修会** zoom開催

水道料金の値上げを考える

全国の自治体で、水道料金の大幅な値上げが相次いでいます。「清浄・豊富・低廉」(水道法第1条)は水道の使命のはずですが、大幅な値上げはやむを得ないのでしょうか!? 水道は、たとえ災害時においても絶やすことが許されない「命の水」です。どこにおいても誰であっても、大幅な値上げにより水道料金が払えず、家庭への給水が止められるという事態があってはなりません。

この研修会では、水道と水道料金決定のしくみをおさえた上で、提案されている大幅な値上げの背景と要因を検証し、何が問題なのか、どうすればよいのかを読み解きます。

■ 2025年3月27日(木) 午後(13時30分~17時)

講義

水道料金値上げの根拠と論点

講師 太田 正 (作新学院大学名誉教授)



そもそも水道とはなにか(水道システム、市町村公営原則、独立採算制と公費負担など運営や会計のしくみ、水道料金の2つの構成要素と決定プロセスなど)、なぜいま全国的に値上げラッシュが起きているのか、押し寄せる水道料金値上げを考える際の背景と要因および論点はどこにあるか、水道経営は独立採算制なので赤字なら値上げはやむを得ないのか、水道の会計を分析する勘所はどこにあるかなど、水道料金を考えるポイントを紹介します。

参考テキスト：太田正「押し寄せる水道料金値上げの波をどう考えるか」
(「住民と自治」2025年2月号所収) 税込特価 680円

事例報告

県水値上げに連動する 市町村水道の動向をめぐって

報告者 林 敏夫 (埼玉自治体問題研究所)



埼玉県では用水供給事業が21%値上げされます。それ自体に様々な検証課題がありますが、市町村では新水道ビジョン、経営戦略もからみ、値上げに余儀なしかの動きです。では、各水道事業・会計の何を検証しておくべきでしょうか。

企画：自治体問題研究所 主催：自治体研究社

(オンライン) 第74回 市町村議会議員研修会 zoom開催

2025年3月27日(木)

■ お申し込み方法、受講料

FAX、メール、**ホームページ**からお申し込みください。

FAX 03-3235-5933

メール info@jichiken.jp

HP <https://www.jichiken.jp/>



自治体問題研究所

検索

[受講料] 15,000円(税込)

自治体問題研究所・地域研究所個人会員 14,000円(税込)

- ◇議員の方に限らず受講いただけます。
- ◇お申し込みいただいた順に、受講料の振込口座をメールでご案内します。
- ◇見逃し視聴あり(配信日から1週間以内)。
- ◇キャンセルの際は、ご入金の有無に関わらず必ずご連絡ください。開催日の8日前からキャンセル料が発生します。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。
- ◇お問い合わせ先 自治体研究社 議員研修会係 〒162-8512 東京都新宿区矢来町123 矢来ビル4F
TEL: 03-3235-5941 FAX: 03-3235-5933 e-mail: info@jichiken.jp

■ 受講者様 ■ 申込締め切り日 3月24日(月)

氏名(ふりがな)

現職:

会員種別に○

「自治体問題研究所」や「各地域研」の会員

会員ではない

メールアドレス

(★参加に必須)

*スマートフォンでの視聴は可能ですが、レジュメの受け取りはできません。

電話

FAX

(郵便番号 -)

住所

領収書宛名

通信欄

ご記入いただいた個人情報は、弊社主催の研修会のご案内に利用させていただく場合がございます。第三者への個人情報の開示・提供は、ご本人の同意がなければいたしません。

■ 市町村議会議員研修会 参考テキスト注文書

研修会参加者に限る税込特価です。この注文書でお申し込みください。
送料一律400円でお送りします(「住民と自治」のみご注文の場合は送料100円でお送りします)。

「住民と自治」2025年2月号所収 太田 正

「押し寄せる水道料金値上げの波をどう考えるか」

税込特価 680円

冊

尾林芳匡・渡辺卓也 編著

『水道の民営化・広域化を考える』3訂版

税込特価 1500円

冊



FAX 番号 : 03-3235-5933